



図書館だより

NO. 250 2019年3月号
(2019年3月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



二人のプロフェッショナルに聞く

本と本屋と図書館の未来予想図

2019.3.9 [sat] 18:30-20:00

GUEST

at はつかいち市民図書館

HOST

上野純一（庭園の宿 石亭） × 清政光博（READAN DEAT） / イソナガアキコ（ライター）

街の本屋はなくなってしまうのか？ 人は本になにを求めるのか？

本と本のある場所をこよなく愛する二人のプロフェッショナルが思い描く本屋と図書館の未来予想図とは？ 本を取り巻く環境の今と未来について二人に熱く語っていただきます。

定員 30 名 ※先着順 / 申込 はつかいち市民図書館へ直接または電話 (0829) 20-0333 へ

- アルコール以外の飲み物の持ち込みを可とします。蓋付きの入れ物でご持参ください。
- 庭園の宿石亭と READAN DEAT が掲載された『全国・旅をしてでも行きたい街の本屋さん（イソナガアキコ共著）』の販売、希望者にサインします。

* 今月の展示 *

《中央展示》

「小学生と友達になった本」

はつかいち市民図書館には、ブックトークを勉強する会「ブックトークの会ピッピ」があり、2011（平成23）年度から市内の小学校で、ボランティア派遣事業を実施しています。今年度は、3～6年生を対象に、5校で実践しました。紹介した本のリストを子ども達に配布し図書の出借もしました。今年度紹介した本を中心に、これまでにブックトークで扱った本を展示しています。

《企画展示》

「ようこそ！図書館へ」

はつかいち市民図書館へようこそ！ 当館で所蔵している「図書館が出てくる本」を、絵本や小説を中心に集めました。日本だけでなく外国の図書館のおはなしや、図書館がミステリーの舞台になっている小説などさまざまです。本からいろんな図書館めぐりをしてみませんか？ 図書館について、新たな発見があるかもしれません。



展示期間：3月1日（金）～ 3月27日（水）

さくらの小部屋 第9回

みなさん、こんにちは！ はつかいち市民図書館広報担当のはつかいちさくらです。

これまで少しずつ紹介してきた「ぶんるいごう分類記号」(本の内容を表している記号→

913
ア

)
を分かりやすくしたキャラクターたちですが、今回で最後になります！



7 芸術



分類記号が「7」から始まる資料は「芸術」です。
美術、音楽、工作、スポーツ、映画、将棋など、何かを作ったり、
体を動かしたりする楽しい本がたくさんあります。

色々なことに興味を持ったオシャレな女の子です。

分類記号が「8」から始まる資料は「言語」です。
言葉に関する本が集まっているので、挨拶や手紙、そして外国語を
勉強する本などがあります。

8の本は数が少なくてひっそりとしているので、おとなしい男の子に
たとえています。(でも喋らせると外国語ペラペラです)



8 言語

9 文学



分類記号が「9」から始まる資料は「文学」です。
物語や詩、短歌、俳句などの本が集まっています。

最近は電子書籍が普及してきたので、スマホで色々な物語を読んでいる
流行に敏感な女の子です。

興味がある本の分類記号を見つかりましたか？ それではまた次回お会いしましょう。(๑'▽'๑)

新しく入った本(一般書)

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『FACTFULNESS』ハンス・ロスリング／[ほか]著 上杉周作／訳 関美和／訳 日経BP社 002.7/7

『棋士と哲学者』戸谷洋志／著 糸谷哲郎／著 イースト・プレス 104/ト

『武士の起源を解きあかす』桃崎有一郎／著 筑摩書房 S210.3/㊦

『上皇の日本史』本郷和人／著 中央公論新社 S288.4/ホ

『学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす』中山芳一／著 東京書籍 371.3/ナ

『うつのリワークプログラム』五十嵐良雄／著 ふくいひろえ／文 日経BP社 498.8/イ

『広島極上レストラン』佐伯和彦／著 佐伯貴子／著 ザメディアジョンプレス 596/サ

『牡蠣の歴史』キャロライン・ティリー／著 大間知知子／訳 原書房 664.7/㊦

『新井貴浩』中国新聞社／編著 中国新聞社 L783.7/7

『辞書編集、三十七年』神永暁／著 草思社 813.1/カ

『ニムロッド』上田岳弘／著 講談社 F/ウ





ここが変わった!

児童コーナー

リニューアル

その1 特におすすめの本にピンクシールの目印を付けました!



ピンクの丸シール

★ここからスタート★
ようこそブック

絵本からよみものへの橋渡しとなる作品です。子どもがひとりで読むのが難しい時は、大人が声を出して読むことで一緒に楽しみ、少しずつ物語の世界に親しんでみましょう。



ピンクの半円シール

★ステップアップ★
ともだちブック

個性豊かな登場人物と、いろいろな世界を味わえる作品です。シリーズ作品も多くあります。何度も手にとって楽しむ、仲の良いともだちとなるような作品との出会いがあるかもしれません。

たくさんの児童文学の中から、特におすすめの本がわかるよう、背表紙にピンク色のシールを貼りました。これらの本は、東京子ども図書館刊行の『物語の森へ』で「長くよみつがれ、蔵書の核となる良質な作品」「子どもをひきつけるすぐれた点をもつ作品」とされているものです。本選びの際の目印に、ぜひご活用ください。

『物語の森へ』 東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 909.0/¥ 1950年代～2016年に刊行された児童文学の中から、選りすぐりの作品を収載したリストです。物語のあらすじや内容の紹介に加え、挿絵や装丁などについても触れられた丁寧な解説で、子どもに本を手渡す際の参考となります。 *児童文学研究書のコーナーにあります*

その2

読み物の位置が変わりました!

にほんのものがたり (913~918) と、がいこくのがたり (920~999) のコーナーは、文庫本と単行本とを一緒にならべました。同じタイトルの本は、好きなサイズで読むことができます。



あの本、どこに行った?!

今までシリーズで読んでいた本の場所がわからないなど、探すのに困ったときは、お気軽に相談カウンターでお尋ねください。

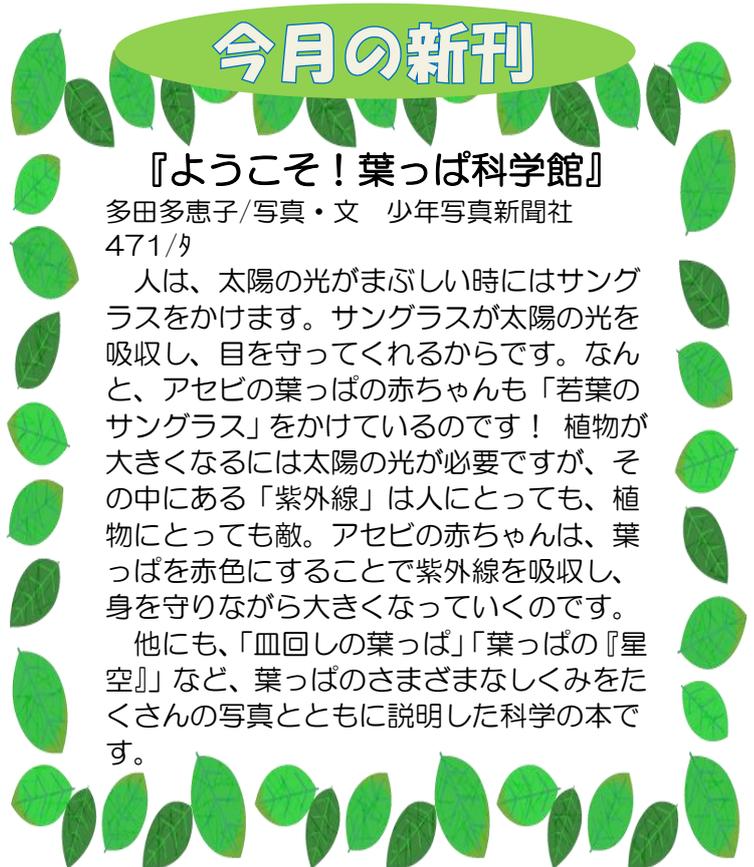
今月の新刊

『ようこそ! 葉っぱ科学館』

多田多恵子/写真・文 少年写真新聞社 471/¥

人は、太陽の光がまぶしい時にはサングラスをかけます。サングラスが太陽の光を吸収し、目を守ってくれるからです。なんと、アセビの葉っぱの赤ちゃんも「若葉のサングラス」をかけているのです! 植物が大きくなるには太陽の光が必要ですが、その中にある「紫外線」は人にとっても、植物にとっても敵。アセビの赤ちゃんは、葉っぱを赤色にすることで紫外線を吸収し、身を守りながら大きくなっていくのです。

他にも、「皿回しの葉っぱ」「葉っぱの『星空』」など、葉っぱのさまざまなしくみをたくさんの写真とともに説明した科学の本です。



廿日市中学校の職場体験がありました

1月31日(木)・2月1日(金)、4日(月)～6日(水)の5日間、廿日市中学校の生徒4名が職場体験に来ました。

①



②



カウンター業務(返却・貸出/写真③)や配架(返却された資料を棚に戻す仕事/写真①)、本の修繕(写真②)、ブックカバーかけ(写真④)、保存期限の切れた雑誌の除籍、展示資料集めなど、たくさんの仕事を体験してもらいました。



③

中学生たちの感想

毎日好きな本に囲まれて仕事をする
ことができ、大変なこともたくさん
あったけど充実した5日間でした。

将来仕事につくときには、この体験を
活かしてがんばりたいです。



④

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2 🎀
3	4	5	6	7	8	9 ★
10	11	12	13	14	15 ◎	16 ◆
17	18	19	20	21	22	23 ★
24	25	26	27	28 休館	29	30
31						

ストーリーテリングのおはなし会
「あなたとつながるストーリーテリング」
【対象】成人男女
【場所】さくらびありハーサル室
【時間】14時00分～15時30分

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児
【時間】1回目 10時30分～
2回目 11時～

※整理券をお渡ししています。
相談カウンターにお申し付けください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年
【時間】11時～

◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～大人
【時間】11時～

※場所は図書館会議室です。